



建築3Dパース検定

Presentation of Architectural Design Session

3D

<http://www.acsp.jp/kentei/pers>

ACSP

主催：一般社団法人 コンピュータ教育振興協会

建築 3D パース検定

Presentation of Architectural Design Session

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（東京都港区、代表理事：和田成史、以下「ACSP」）は、建築系・汎用系の 3 次元 CAD システムや CG/ グラフィックソフトを用いた建築 3D パースの第三者評価&表彰制度「建築 3D パース検定」を、平成 24 年 2 月に実施いたします。なお、本検定制度は、21 年にわたり「CAD 利用技術者試験」を主催する「社団法人コンピュータソフトウェア協会（以下、CSAJ）」による特別協賛と、ソフトベンダー各社の協力の下、実施いたします。

■ 検定の意義

建築の 3D モデリングから表現される CG パースを駆使したプレゼンテーションは、今や大型プロジェクトだけでなく、同ジャンルのソフトウェアの発展によって、中小規模の案件から一般住宅などの市場においても、日常的なものになっています。

その結果、プロフェッショナルなユーザーから、3D モデリングによる CG プレゼンテーションやパース画作成を生業としないユーザー層まで、その市場が拡大しています。

本検定制度は、こうした“3D パースの大量消費時代”を担う人材の裾野拡大と、その技能の社会的価値化による就業支援、また同時に、目指すべき頂点のプロフェッショナル技能への社会的評価を喚起して、ユーザーならびに関連業界の発展に寄与することを目指しています。

■ 検定のメリット

本検定制度の意義は、自らが作成した作品を、「第三者が客観評価」し、さらに優秀作品を「表彰」することにあります。「表現力」への評価は、得てして評価者の「好き」「嫌い」に左右されがちです。一方で、表現力だけを見ると、パース本来のリアルなモノ作りのための「正確さ」がおろそかにされてしまいます。本検定では、専門家によって作成された、正確さと表現力を客観的に評価するための「評価基準」をベースに、受験者の作品を評価いたします。さらに、作品の中から優秀者を表彰し、公式 Web ページ等で公開いたします。作品が第三者により客観的な評価を受け、さらに表彰されることにより、以下のようなメリットが享受されます。

- ①自身の実力が確認できます。 ⇒ 仕事や学習のレベル&スキルアップにつながります。
- ②自身の実力が評価されます。 ⇒ 就・転職時の自己アピールにつながります。
- ③自身の作品が公開されます。 ⇒ 表彰者の社会的な評価につながります。

■ 建築 3D パース検定の特徴

・課題提出型を採用

本検定制度では、集合型の一斉試験ではなく、決められた期間内に課題を作成し、提出する、「課題提出型」を採用いたします。受験希望者は申し込みから課題（問題）のダウンロード、課題の提出、そして評価の入手までを、すべて専用の Web ページで行います。また、課題提出型とすることで、普段、授業や業務で利用しているソフトをお使いいただけます（複数ソフトの組み合わせもかまいません）。

・表彰制度も併せて実施

本検定制度では、「表彰制度」も併せて実施いたします。社会人および学生の中からそれぞれの最優秀者を毎試験に表彰し、最優秀者の答案画像は、公式 Web ページにて公開します。検定としての個人評価だけでなく、表彰制度を設けてコンテンツ的な位置づけを持たせることで受験へのモチベーションを高めます。

建築3Dパース検定の実施概要

■ 実施団体

主催：一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）
特別協賛：社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

■ 検定名称

建築3Dパース検定（略称PADS：Presentation of Architectural Design Session）

■ 受験対象者

建築系・汎用系3次元CADシステムを利用して、建築設計・製図、パース作成などの業務に従事、または、その業種・職種を目指している方

※社会人、CAD/パソコンスクール、及び、専門学校生、大学生を主な対象者としています。

■ 受験料

10,000円（学生団体受験は6,000円）

※ 第1回実施分は一律6,000円です

■ 検定実施期間

第1回検定試験実施

受験申込：2011年11月15日～12月15日

問題公開：2012年2月1日

答案締切：2012年2月7日（答案画作成期間：1週間）

■ 試験方法

問題提供：専用公式サイトマイページで受験要項と課題データを提供

答案提出：専用公式サイトマイページに答案画像データを提出

※試験会場での時間制限付一斉受験方式ではなく、在宅でのオンライン課題提出方式

結果発表：評価結果は受験者全員に「評価結果通知書（PDF）」を専用公式サイトマイページで提供

■ 提出成果物（答案）

出題された、「設計図書（一般図）と仕様書と設計趣旨文」を元に、「パース画」を作成し、期限内に成果物（答案）として、「建築パース検定」専用公式サイトから提出。

提出する「パース画」は、指定の解像度とサイズのJPEGとする。規定外のは評価対象外。

■ 使用ソフト

評価の対象は、提出された解答画像であり、作成のプロセスや使用したソフトを問いません。

提供された課題データをもとに、普段受験者の方が利用しているソフトを使ってください。

なお、本検定に協賛・賛同いただいたソフトベンダー各社から、検定に利用できる体験版の配布等のサービスがあり、この体験版を使用して受験することも可能。

※協賛・賛同ソフトベンダー、および、使用想定ソフト一覧は公式サイトに掲載

■ 検定に関する情報の告知と公開

専用公式サイト：<http://www.acsp.jp/kentei/pers>

公式ガイドブック：ダイジェスト版電子ブックの公開（書籍化は2012年予定）

建築3Dパース検定の出題と採点基準概要

■ 建築3Dパース検定の技能

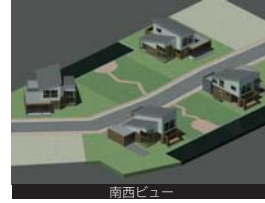
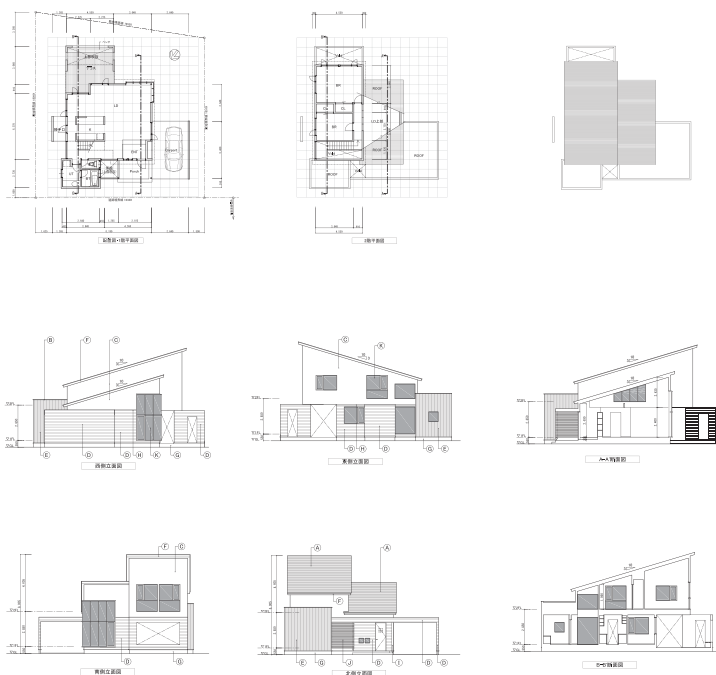
この検定で求める技能と力量は次のとおりです。

- I 建築図面の読解力：
与えられた2次元の図面（情報）から3次元の空間形状を導き出せる（読み解ける）能力と技術
- II モデリング能力：
読み解いた空間を3Dモデルとして構築できる能力と技術
- III 空間表現力：
構築した3Dモデルを適切に表現する能力と技術
- IV プレゼンテーション力：
設計意図や建築空間の主題を適切に可視化し伝達できる能力と技術

■ 出題内容

複数の建築物が配置された居住区画案が設問用の課題として示されます。

※以下の図は、設問用課題（設計案）の参考例です。



このプランに対して、簡単な空間表現から複雑で高度な表現までの段階を踏んで、複数の設問から指定された内容と仕様に従って、パース画像を答案として作成し提出することが求められます。



■ 提供課題データ

受験者へ提供される課題データは、概ね以下のとおりです。

- ① 設計図書（一般図）／敷地図（配置図）・平面図・立面図・断面図
- ② 補助（参考）図面（鳥瞰図）
- ③ 仕様書／設計概要・仕上表
- ④ 設計趣旨文
- ⑤ 解答要綱
- ⑥ 「作画の手引き」（専用公式サイトで掲載）

尚、①～⑤は一冊のドキュメントとしてPDFファイルで提供し、さらに、①の設計図書はDXFファイルでも提供します。⑥は公式サイトからのみ閲覧可能。

■ 評価方法

5名の「評価・判定委員」が全受験者の答案画像を、「評価基準」に基づきチェックし、個々の委員の評価終了後、「評価・判定委員会」にて全員分の評価結果を調整した後最終判定します。評価は得点（100点満点）をベースに、初級・中級・上級の3段階評価とします。（ただし、初級の評価にも達しない受験者に対しては、「評価対象外」と判定します。）

■ 評価ランク

評価対象者は「建築3Dパースデザイナー」として、下記の3段階の等級を付与します。

【上級】：上級取得者は、建築パースデザイナーのプロとして、指導的立場で、かつ、独立できるスキルを持つ。建築系・汎用系の3次元CADシステムを利用し、主として、建築設計・製図、パース作成業務に従事し、2年以上の実務経験を有する方を想定。

【中級】：中級取得者は、指導者のもと、建築パースデザイナーの実務に携わるスキルを持つ。建築系・汎用系の3次元CADシステムを利用し、主として、建築設計・製図、パース作成業務に従事、または、その業種・職種を目指し、半年以上の就学・就業経験を有する方を想定。

【初級】：初級取得者は、将来、建築パースデザイナーの実務に携わるための基礎的なスキルを持つ。これから建築系・汎用系の3次元CADシステムを本格的に学ぶことを目的とした、3ヶ月程度の就学者を想定。

■ 採点評価項目

本検定における、「第三者による客観評価」を実施するうえで、この客観評価のための基準となる採点評価項目についての概要とコンセプトを以下に示します。

3Dモデリングの手法と作成過程は様々であり、その作成手順やプロセスには「一つの正解」はありません。そのため、このモデリングプロセスでの能力や技能を問うことは困難です。そうした多様な3Dモデリング作業の結果として生み出されるパースの最終成果物は「一枚の絵」です。「絵」である以上、「芸術的（絵画的）表現力」への評価を避けて通るわけにはいきません。この表現力への評価は、得てして評価者の「主観的感性」に左右されがちです。しかし、このパースの目的は、設計者の意図や、その建築の空間形状を、より分かりやすく正確で適切に表現することであり、それが「芸術的絵画」と大きく異なる点です。

本検定では、この「設計者の意図や、その建築の空間形状を、より分かりやすく正確で適切に表現できる」技能と能力を、客観的「評価基準」をベースに、採点評価します。ただ、この客観的技術力の評価（検定としての合否）に加えて、絵画的表現力（すなわち、「アートとしてのパース」）への評価として、受験作品の中から優秀者を表彰し、公式 Web サイトのギャラリーに展示します。

採点基準となる評価項目は以下のとおりです。

● 評価ポイント：モデル作成力

与えられた2次元データである設計図書（課題）から、空間としての建築の「姿・かたち」を読み取って理解し、それを3次元データとして組み立てることができるかどうか、さらに、このモデリングした3次元データを、建築の「姿・かたち」として、要求されたとおりの「絵（透視画）」で表示できるか、この能力と技能を「モデル作成力」として評価します。

- ① 設問図面から正しく空間形状が読み取れている
- ② アングルの方位・画角・アイレベルが要求されたとおりになっている

● 評価ポイント：モデリング表現力

空間としての建築の「姿・かたち」を3D表示できる「モデル作成力」に加えて、周囲（敷地や道路）との空間的・方位的な位置関係、仕上げ材の違い、窓ガラスの透明感、日差しによる影など、建築空間への「説明的要素」を付加して、より分かりやすく表現する能力と技能を「モデリング表現力」として評価します。

- ③ 建物以外（敷地や道路）がモデリングされている
- ④ 仕上げの違いを色彩で表現している
- ⑤ 窓ガラスの透明感が表現され、室内及び反対側のモデリングもしている
- ⑥ 影が表現されている

● 評価ポイント：パース仕上力

「モデル作成力」と「モデリング表現力」によって、空間としての建築の「姿・かたち」を3D表示できれば、さらに、それを「現実感をもった絵画的表現」に仕上げることができるか、あるいは、場合によっては、与えられた設計図書（課題）で指定されていない部分を、作成者自身の判断で適切に処理するというセンスを含めて、この能力と技能を「パース仕上力」として評価します。

- ⑦ 仕上材の質感が適切に表現されている
- ⑧ 背景・添景が適切に表現されている
- ⑨ 反射・映り込みが適切に表現されている

● 評価ポイント：パース総合力

「モデル作成力」と「モデリング表現力」と「パース仕上力」によって、「建築の空間形状を、より分かりやすく正確で適切に表現できる」能力と技能への評価は充分と考えられますが、さらに、「設計者の意図」をどう表現できるか。あるいは、与えられた情報には含まれていない周囲の環境（街区や家並み）をどう表現できるか。この全体をまとめ上げる能力と技能を「パース総合力」として評価します。ここでは、絵画的表現手法をどう巧みに使いこなすかという点も評価の対象とします。

- ⑩ 計画の設計意図が巧みに表現されている
- ⑪ 絵画的表現力

■ 出題形式

設問のための設計案

設問(課題)のために、「A案」「B案」の2つの建築設計案と、その両案をそれぞれ複数棟(戸)配置した街区(居住区画)の計画案として提示されます。

全ての受験者は、この計画案に対して、目標とする等級に合わせた答案画を提出します。

設問内容

第1問(課題1)

この2つの設計案の内のA案について、所定の条件下で作成したパース画を提出することが求められます。

第2問(課題2)

この2つの設計案であるA・B案を、それぞれ複数棟(戸)配置した街区(居住区画)の景観(家並み)全体を、所定の条件下で作成したパース画を提出することが求められます。

設問と段階評価

第1問(課題1)に対して、段階評価(初級)を得たものを初級合格者とし、段階評価(中級)を得たものを中級合格者とします。

第2問(課題2)に対して、段階評価(上級)を得たものを上級合格者とします。

※第2問(課題2)の答案画の作成過程には、第1問(課題1)の作成作業が含まれており、上級としての段階評価には、当然、初級・中級としての段階評価以上の能力と技能が求められます。

※複数の答案画の提出はできません。最終提出画(締切り時点で提出されている答案画)を評価対象とします。

■ 段階評価と評価ポイント

● 段階評価(初級)

3つの設問の内の第1問(課題1)に対して、「モデル作成力」と「モデリング表現力」を問います。

評価ポイント：提出された答案画が、採点評価項目の①～⑥を満たしていること。

素材質感はなくてもよい／背景・添景は不要／反射・映り込みは不要

● 段階評価(中級)

3つの設問の内の第2問(課題2)に対して、「モデル作成力」と「モデリング表現力」と「パース仕上力」を問います。

評価ポイント：提出された答案画が、採点評価項目の①～⑨を満たしていること。

● 段階評価(上級)

3つの設問の内の第3問(課題3)に対して、「モデル作成力」・「モデリング表現力」・「パース仕上力」・「パース総合力」を問います。

評価ポイント：提出された答案画が、採点評価項目の①～⑪を満たしていること。

段階評価(初級)画像



段階評価(中級)画像



段階評価(上級)画像



PADS

建築3Dパース検定

Presentation of Architectural Design Session

主催：一般社団法人 コンピュータ教育振興協会



【一般社団法人コンピュータ教育振興協会について】

一般社団法人コンピュータ教育振興協会 (ACSP) は、CSAJ を母体として平成 21 年 2 月に設立された非営利法人です。CSAJ が主催する「CAD 利用技術者試験」「会計ソフト実務能力試験」の共催・運営を通して培ったノウハウをもとに、検定試験の主催・運営および関連する教育事業を行っております。

URL : <http://www.acsp.jp/>

【社団法人コンピュータソフトウェア協会について】

社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) は、コンピュータソフトウェアに関わる企業約 500 社によって構成され、ソフトウェア産業の発展に貢献している公益法人です。政策提言、ベンチャー支援、ビジネスアライアンス、知的財産保護、税制改正要望、人材育成、国際交流など、さまざまな活動を通じて、ソフトウェア産業の発展に貢献しています。

URL : <http://www.csaj.jp/>

【「CAD 利用技術者試験」制度について】

CSAJ が主催し、ACSP が共催する「CAD 利用技術者試験」は、平成 2 年の創設以来、現在までに延べ 50 万人を超える総受験者を誇る、国内最大規模の CAD 技能資格です。本試験制度は、CAD を利用した知識・スキルを明確化し、一定水準に達している受験者に対して評価・認定を行うもので、インターネットを利用した随時試験の「CAD 利用技術者基礎試験」と、機械系・製造系の 3 次元 CAD の知識と技能を問う「3 次元 CAD 利用技術者試験」、そして 2 次元系の CAD システムを利用する上での知識と技能を問う「CAD 利用技術者試験」の 3 種類があります。

URL : <http://www.csaj.jp/cad/>

※本検定案内に掲載の内容は、一部変更される場合がございます。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人コンピュータ教育振興協会 (ACSP)

建築 3D パース検定試験センター 担当：佐藤

E-Mail : pers_cs@acsp.jp

ACSP

Association for Computer Skills Promotion